

令和4年度第3回 旧国立駅舎運営連絡会議事録（要旨）

日 時：令和4年9月28日（水）19時00分～21時00分

場 所：旧国立駅舎展示室、国立駅南口駅前広場

出席委員：秋田委員、磯部委員、落合委員、木村委員、佐藤委員、鈴木委員、洪委員、
藤本委員、宮崎委員

欠席委員：藤田委員、中村委員

事務局：都市整備部 北村部長

国立駅周辺整備課 関野課長、外立係長、藤堂主任、後藤主任

○鈴木会長 では、始めてしまいませんか、定刻なので。後藤さんよろしくお願ひします。

～事務局より「旧国立駅舎＜利活用＞レポート2022 7～8月度」について説明があった～

○鈴木会長 ありがとうございます。皆さん何かお聞きになりたいことはありますか。

○磯部委員 この「売上」と「トピックス」の相関データというやつで、例えば7月16日、17日
辺りとか、7月22日辺りとか、8月12日、13日辺りというのは、来館者数は普通なのだけれど
も売上がどんと伸びているのは、これは何か理由があるのですか。

○事務局 分析しきれないところはあるのですけれども、物販はやはり大口の方1人の人で一気に買
う方とか、あとは一番単価が高いのがレール文鎮なのですけど、それを買われると一気に一日あたり
の売上額が高くなります。ご質問いただいた日程に関して言えば、環境要因というよりは、運による
ところが大きいと考えています。

文鎮は大体、月に8個から10個ぐらひは売れているので。それがどの日なのかはかなり影響して
いると思います。

○洪委員 買いに来る人たちというのはどちらかと言うと鉄道好きの方とかが多いのですか。特に分
からないですか。

○事務局 そうですね。そこまでわかりやすい傾向があるわけではないです。一般の方は興味は持た
れますけれども、ちょっと高いねという意見がやはり多い状態です。

○鈴木会長 でも、アコースティックコンサートの日は出ているし、7月17日は何でしたか。

○事務局 17日が確かノミノイチとプレイピアノデーの日だったので。

○鈴木会長 ほかにはありますか。

○洪委員 私はJ:COMを今日撮影しているのを見ました。私はてっきり何か今日ここでイベントがある
ものの取材に来たと勝手に思っていたのです、そこでやるから。そうしたらこういうことだったのだ
なと思って。毎週ここで収録されているのを見たのだなと思ったので、何かこれがもうちょっと知ら
れるといいなと。

○鈴木会長 これはどういう経緯でここが選ばれたのですか。

○事務局 駅前で人が多い絵面をJ:COMさんが求めていました。水曜日は国立なのですけれども、ほかの曜日は立川や八王子とかで撮影していて、やはりどこも駅前で撮っている状況になります。

○鈴木会長 どうせなら駅のこの構図でなくて、旧駅舎を入れていただいて。

○事務局 先方にはそのように打診をしています。現在協議中です。

○宮崎委員 椅子の使い方が上手になりましたね。

アコースティックのときとサマークリスマスイベントのときと1個ずつばらしたり、いつも丸で使っていたイメージがあったので、人によっては真正面を向けていないなどか思っていたのです。このコンサートの時は、上手ですね。すごくいろいろ工夫されていると思って。

机にもしているのですよ。すごいと思って。

○事務局 座るだけではなくて台として使っていただくほうがスペース効率も上がるので状況により提案をしています。

○宮崎委員 確かに。こういう使い方もあるのだと思って、それに感動しました。

○鈴木会長 落合さんは何かありますか。

○落合委員 ピアノと戦争がやはり8月とかは多いですね。

○事務局 そうですね。

○藤本委員 イベントは毎月こんなでしたか。11件とかでしたか。

○事務局 今回少なめですね。7月がちょっと少なかったの。8月は前年並みです。

○宮崎委員 コロナの影響ですか。

○事務局 コロナもあると思います。

○藤本委員 でも、コンサートはコロナのときはなかったではないですか。考えてみたら。初めの頃は展示が多かったですよ。だから、その辺は時間がたってきてこういう使い方ができるようになってきたというのでいいのではないかなと思いますよね。やはりコンサートのとき人が入っていましたものね。

○事務局 そうですね。引きがありますね。まちとの相性もいいので。

○藤本委員 そうですよ。やはりすごく使いやすいかなという感じですよ。こういう室内樂的なのだと。

○磯部委員 これはちなみに、「ソウルサウンドライアーがリピート利用」とあるではないですか。これは、リピートは演者さんたちのほうから声がかかったのですか。

○事務局 そうですね。

○鈴木会長 演奏しやすいのですかね。

○事務局 そうですね。スピリチュアルな空間を演出するのに気に入っていただいたようです。

○鈴木会長 ああ。そうですか。

○磯部委員 でも、僕も音楽をかじっているのですけれども、こういうところで発表の機会とかがあると、やる気になるから、そこそこのレベルの人はやりたいだろうなと思いますよね。

○洪委員 この方たちは有料適用なのですか。

○事務局 これは有料適用ですね。体験会がお1人500円徴収しているので有料適用です。

○洪委員 そうなのですね。そういうことなのですね。なるほど。何かスマホ相談所以外の有料適用があっただけだなと思いました。

○鈴木会長 それで主催者さんは利益が出たのですか。

○事務局 ペイはできています。30人弱ぐらい参加されていたので、1万5,000円ぐらいで、場所代は7,000円です。

○洪委員 なるほど。

○鈴木会長 では、次の議題に進めてしまいませんか。

～事務局より「資料2 国立駅南口駅前広場のイベントについて」のとおり説明～

○鈴木会長 ありがとうございます。確認すると、市民まつり3祭合同というのは、4日、5日、6日の3日間に渡ってお祭りをやると。車の通行を止めて、広場としてロータリーをずどんとやる社会実験については6日だけやると、そういうことですね。

○事務局 はい。6日の9時半から16時までの間という形で今、調整しております。

○鈴木会長 なので、そのお祭りの最終日だけそうなると。大学通りについては。

○事務局 大学通りも11月6日だけです。

○鈴木会長 日曜日だけということですね。

○事務局 歩行者天国は。

○鈴木会長 承知しました。そのお祭りの準備は、着々と進んでいて、計画者との調整もどんどん進んでいくので、私たちが今やりたいとしても結構忙しくなるのではないかとということを踏まえて考えてくださいということですね。

○事務局 はい。

○鈴木会長 11月以降だと、2月以降の東西広場を広げるという機会が1回あって、ヘブンアーティストのときもそうするのですか。

○事務局 そうです。用地交換が終わる時期は、最短で1月中旬か2月にかけてを予定している。用地交換が済めばフェンスは撤去する予定です。

○鈴木会長 ずっと撤去した状態で1月、2月、3月となる可能性があって、緑化ベンチが置かれるのは2月だけ。ではなくて、ずっとその後も置くということですか。

○事務局 2月から2年間置く予定です。

○鈴木会長 2年間ずっと置かれるのですね。だから桜を植えたら桜がずっとあると。

○事務局 そうですね。この緑化ベンチは可動式なので、どこにでも自由に動かせるという形があるので、そういう非常に使い勝手のいいベンチです。

○鈴木会長 3月は緑化ベンチもあったり、桜の木もちょっとだけはあるのだけれども、それも踏まえたヘブンアーティストのイベントも同時にやると。

○事務局 はい。今、調整ができればなど。

○鈴木会長 分かりました。皆さんから質問などありますか。

○藤田委員 音楽イベントというのは3日間ですか。それとも6日だけですか。

○事務局 こちらでやるストリートピアノは3日間、4日、5日、6日にステージを作ってやります。その大学通りと交差点のピアノのイベントは、11月6日の1日だけです。

宮崎委員 LINKくにたちのときに、自転車でめちゃくちゃ困ったのですよ。というのは、ここから入ってきて、このピンクは多分車の規制ですよ。

○事務局 そうですね。

○宮崎委員 自転車は入ってこられるのですけれどもこっちに渡れなくて、ずっとぐるっと桐朋通りをもっと先に行き、ようやくこっち側に行けたのですね。だから、本当は駐輪場がもうちょっと手前とかこっちの谷保のほうにあるとか。一橋のほうに止めたくても自転車置き場までたどりつけなくて、こっちの自転車置き場もいっぱいだったりすると渡れないというのがあったのですね。だから自転車対策も、実は結構お祭りというみんな自転車で来るので、意外とそこを考えないで車とか歩行者はよく考えられているのですけど。

○事務局 市民まつりの実行委員会がありますので、実行委員会のほうに伝えておきます。

○宮崎委員 ぜひ。

○事務局 臨時的駐輪場の場所だとか、そういったものをどういう形でやるのかということも含めて。

○鈴木会長 ありがとうございます。そのほかにはございますか。

○洪委員 この6日なのですけれども、ここを使えるようにするではないですか。さっきステージができとおっしゃっていたところ。椅子とかはパイプ椅子みたいなものは置かれますか。

○事務局 ステージということは聞いているのですけど、多分ストリートピアノを1台ステージに置くということで、多分椅子とかまでは置かなそうな感じではないかと思います。

○洪委員 なるほど。椅子があるのかどうかだけ確認してもらってもいいですか。

○事務局 どっちのほうがいいのですか。椅子があったほうがいいのか、なくてもいいのか。

○洪委員 いえ、この日、私はいられないので、アイデアを出すのは微妙だなと思ったのですけれども、別の場所で椅子を持ってこようみたいなのをしている人たちがいるのですよ。道路とかにベンチがあったりもしますけど、自分の家にこういう椅子とか、あとみんなアウトドアでキャンプ用の椅子とかを持っているではないですか。あえて、そういうのをみんな家から持ってこようみたいな、それで自分でくつろごうみたいなことをしている人たちがいて、何かそういうのがここでできたらいいなと思ったのですけど、既に椅子があるとその辺との兼ね合いとか。あとはそういうアウトドアの椅子だと固定ではないので、警察も大丈夫かなと思いつつ。設置は結構警察の方は厳しいなと思ったので。

○鈴木会長 荷物を持ってきて置いているだけですものね。

○洪委員 そうです。言われたらすぐに椅子をさっと。去ったらまたくつろげばいいのではないかとと思うのですが、どこまで許されるのかなというところで。そういう椅子とかを置くなら事前にというのは、警察から言われるのだろうかと思って。

でも、前、歩行者天国のときにはみんなピクニックシートを持ってきて、勝手に敷いているもいた記憶が、過去ですけれども。それはすごいな、いいなと思ったのですけれども、何かそういうのをしてもいいのかなと思って、ちょっと椅子があるのかどうかを確認したかったです。

○鈴木会長 ありがとうございます。ほかにはございますか。これはこんなに止めて大丈夫なのですか。

○事務局 今までは、このロータリーが行けるような形で、恐らく今までも迂回するときはロータリーまで来ないと多分迂回できなかつたと思うのです。ただ、今回はもう少し広げて、北口からの迂回と学園通り、北からいうと北口のほうにちょっと回っていただくような形。それも西一条線と3・4・10号線がここでようやく開通したので、そのルートができたからこそ初めて今回そちらに迂回できる形が可能になったということなので、まさに今回本当にこれを社会的な実験としてやったときに、

どういう課題があって、どのくらいのものがあるのかというのも我々もちょっと想像ができないところもあるので、そういうところも多分、今後同様のイベントをLINKのときにやりたいのか、年1回程度こういうイベントを本当に進められるのかもどうかも含めて、課題だったり苦情だったりをいろいろ頂いた中でもう1回整理して、次のイベントにつなげていきたいなと考えております。

あと、当然このピンクのところ、これでいうと、この黄色のところは、ピンクのところの中でもこのロータリーのところで……。この部分は公共交通機関、また、近隣の商店街とか、ここに住まわれている方は歩行者、一筆書きで車を出せるような形にしまして、完全な通行止めは一般車両だけです。ここの商店街の方の配達だったりとか、あと、たまたまこのマンションにお住いの方がやはり今日車で出たいといったときは、そこは一筆書きで出せるような形で、今、計画等も調整していますので、ここの近隣の方に関しては極力負担がないような形、あまり車を使わないでくださいということは事前に周知しますけれども、やむを得ず出る場合は、誘導して出せるような形で今、調整をしています。ただ、一般車に関しては、迂回してもらうということで今整理をしていきたいなと思っています。

○鈴木会長 ありがとうございます。ほかにございますか。

○磯部委員 1ついいですか。最初のページの、我々がせんだってグループワークでの目標に3つの駅をつなげるという話で、今のお祭りの中で、音楽のイベントでピアノというキーワードで実は思いついてしまったのですが、ストリートピアノではなくて、軽トラピアノというのを聞いたことはありますか。軽トラにピアノを乗せて、いろいろなところへ行って、演奏している人たちがいるのです。だから、軽トラを谷保とか矢川とか回らせて、こっちに来てもらうようなことも含めて、つないでいくというのはありではないかなと思ってしまいました。

自分たちで、連絡会で何かイベントをするというのではなくて、せっかく演者さんたちが来るのだったら、そういう形でまちのいろいろなところで自分たちの演奏を聞いてもらってこっちに人を寄せてもらうとか、ぐるぐる回ってもらう機会ができればいいなと思って。

そうすると回遊性とか駅をつないでいくことができるのではないかなと思いついてしまいました。

○鈴木会長 ありがとうございます。というわけで、アイデアも出始めたので、ちょっとそっちのほうに移行していきましょか。というわけで、磯部さんが早速思いついてくださったように、最初のほうのグループワークで話し合ってきたようなことを思い出しつつ、残りの年度内にこんなことをやっていきたいと思いますかをお話するといいいかなと思ったりします。

どうでしょう。2つに分かれてわいわい出してみたいな感じでいいですか、最初は。

今、何時ですか。8時前ですか。そうしたら、まずそれで20分ぐらいお話していただいて、アイデアをまた共有して、せっかくなので動き回りに行くのだったら、それから動き回るような形にしましょうか。

< 2グループに分かれて意見交換 >

○鈴木会長 すみません。ちょっと共有タイムにします。どんなお話をされているのか教えてください。

○洪委員 こちらは、結構11月の話がメインで話していたのですが、やはり期間が短いので、即興で何かできるとか、ふらっと来て委員がいなくてもできるみたいな、楽しめるみたいなものがあるといいのではないかなという話をしていました。椅子を持ってくるみたいな話もあったのですが、2つくらい案が出た中で、1つは、前も出た黒板。昔、駅には連絡板みたいなものがあったから、やはりそういうものを置いておくだけでもみんながコミュニケーションを取ったりするのではないかなと。それだと、6日でなくても4日から変更してもらって、それが外に出るのかはちょっと分からないですけど。何か自由に掲示できる場所があるといいよねみたいな話で。誰でも貼れるみたいなものは実はこの場になくて、情報発信したくてもという形なので。自由に貼れるものと、あと結構みんなで深いうなずきだったのは、こういうイベントがある日、うちがそうなのですが、イベントがあると逆に店は全然人が来なくなるというのが多くて、ほかのところは分からないですけど、飲食店とか。でも、せっかくイベントがあって、たくさん人が来ているので、その人たちがどこか巡ってほしいのだけれども、それを知る術がないのではないかなみたいな話をしています。なので、やはりお勧めの、食べるとか、見るとか、子どもと行けるとか、遊ぶならこことか、何かそういうのを書いたりとか、事前に私たちがちょっと書いておくみたいなことをして、来た人も書けるみたいな。私だったらあそこに行くみたいなことを書くみたいな。お勧めスポット等を自由に掲示できるとか、自由に書けるみたいな、何かそういうものを置くみたいなことを11月にできるといいかなという話が出ていました。

あと、最後のほうに盛り上がっていたのは、やはり道路にチョークで絵を描いたりしたいなという話を、もう既に一度チャレンジをされたのですが、なかなか本当の道路だとちゃんと現状復帰をしなければいけないという話になって。

○鈴木会長 でも、すぐ洗い流せるチョークとかもありますよね。

○洪委員 やはり洗い流すという作業が結構になるので。

であるならば、道路が難しかったら、この東西エリアの西側は今イベントがなさげなら、ここを全部描けたら、もうここは道路ではないから、雨で消えるまでは許されるのだろうかみたいな。

○鈴木会長 でも、もっと言ったらピンクのところ。イベントをやっていないけど車を道路があるではないですか。そこでやってしまえばいいのではないですか。

○洪委員 めっちゃ広いですけどね。何かそういう道路に描きたいなという話を、何かそれをクリアできる場所があれば、学校とかに聞いてもう使わないチョークとかを集めたら自由にできるし、子どもすごく楽しいのではないかなみたいな。その派生でイチョウのプールみたいなものとかもまたあるといいなという話は出ましたし、あと11月6日でなくて盛り上がったのは、やはりその鏡面というのですか。

ガラスのところではダンススペースみたいにならないかなという話と、あとキャンドルナイトみたいな。夜、そんなに明るくないので、逆に綺麗ではないかという話を、既に10年前くらいに何回かされた話を聞いて、それを東西広場とか、ここを中心にできればいいなという話が出ました。こんな感じで大丈夫でしょうか。

○鈴木会長 ありがとうございます。こちらは、11月にという話にあまりならなかったのですが、最初はもっと遊べたらいいねみたいなことを私が言って、

立川のグリーンスプリングスでかなりはっちゃけた遊び方をしているというので、民間のほうがりやすいらしいみたいな話だったのです。でも、そこまでいなくても、佐藤さんがおっしゃったのですけれども、音楽イベントをこっちだと、どちらかと言うと、クラシックとかジャズとか。だけどもうちちょっととんがったイベントをやりたいねとか、音楽に合わせてポエトリーリーディングをやりたいねみたいな話から始まったのですけど。そういうことをやるのだったら、イルミネーション期間が12月3日から25日までであるということなので、そこに合わせて何かできることもあるかもしれないという話をしていまして、そこから先は、もうちょっと、やはりこの広場ににぎわいをつくると、洪さんのお店に人が来なくなるというのと一緒のことですけれども、やはりこのご時世で、駅から遠いところの飲食店さんなんかはかなり苦しくて、閉じたところも多いし、人が外に行かなくなるというのは望むことではないので、何とか人がまち全体を回遊するためのイベントなり使い方ができないかということで、まち全体をディズニーランドみたいにする。地区ごとのかわいいキャラが案内してくれるのはどうかみたいな。ちょっとそういう実現できるかどうか分からない話から始まりましたけれども、それをもうちょっと案内人の人がガイドしてくれるみたいな以前からあったアイデアとつなげてできないかという話をしていました。それは、今、もともと観光まちづくり協会さんでそういうまち案内人を既に頑張っているらしいので、そういう既にあるものとどううまく連携できるかということを考えてもいいかもねということをしていました。

全部合意を取りながら大舞台でやるのは難しいので、何か1個センスのいい、みんながまねしたくなるようなものが1個できれば、突破口になるのではないかということで、今、最後木村さんにプロックというサークルの人たちで、谷保のむっさ商店街とコラボでここを使ってもらおうというのを1個やってみてはどうかと。1つの、チャンスはハロウィンのイベント、10月31日だそうなんですけど。みたいなところを話しておりました。

何かお互いのところで聞きたくなったこととかございますか。

○佐藤委員 チョークで描くというやつなのですけれども、あれはチョークで描く以外だとテープを貼って絵を描くみたいなにやるのも最近ちょいちょいブームで、そういうのだと撤収が楽ですね。あと、この前見たのだと、ブルーシートを広げて海の中の絵を描こうみたいなことで、ブルーシート上にテープを貼るというのもやっていました。そういうのだとさらに撤収が楽だなというのはありました。

○鈴木会長 僕は前に神田のほうで、道を止める社会実験というのを参加したことがあったのですが、そのときは道ではできなかったのですけれども、ちょっと広場みたいなところに白い布を置いておいて、絵の具にはだしで運んでもらって、みんなに歩いてもらうというのをやりました。それもシートを取れば終わりなので。みんなの足は汚くなりますけど。そんなのもやりました。シートを敷いた上で何かをやるというのはやり方としてはあるということですよ。

あとは、キーワードは僕らが頑張らなくても事が起きるといふ、何かそういうことができるというということなんです。

○礒部委員 さっきの木村さんのグループでもしここでいうのであれば、そういうときに合わせてちょっとこの辺の商店街だとか、富士見通りの方なんかのちょっと話がしやすい人に来て見てもらって、こういうふうにとこういうふうにつながるよというのを何か見てもらえるところにつながって、「あ

あ、うちもやれるかも」みたいなものにつながればいいなという気はします。

○鈴木会長 ハロウィンのやつを今からやってというのは難しいよね。

○木村委員 いや、ちょっと。

○鈴木会長 ちょっと1か月しかないから。

○木村委員 ハロウィンの企画がどの段階にあるのかをあまり把握していないので、ちょっと声をかけてみないとそこは分からないのですが、もしかしたら……。

○落合委員 今は店の選定をしているところです。お菓子を配る店の選定を

○鈴木会長 お菓子を配るといのはどういうことですか。

子どもたちがお店に配りに行くのですか。

○木村委員 お店にもらいに行くのです。トリック・オア・トリートがあるではないですか。いろいろな家を巡ってお菓子をもらうみたいな風習があると思うのですがけれども、それを模して商店街のお店を回ってもらって、そこで子どもたちが商店さんにトリック・オア・トリートと言うとお菓子をもらえるというようなことで。そのスタンプラリーみたいな、地図みたいなものを作ってこういうふう

に巡って下さいねという感じでやっています。

○落合委員 最後にパレードするのですよね。

○木村委員 そうです。最後に商店街の中をぐるっとパレードで仮装した子どもたちが巡るみたいな

イベントとかもあるのですが、それも何かこっちまで広げられると。

○鈴木会長 こっちまで歩くと結構疲れてしまうか。

○木村委員 ちょっと歩くには遠いですかね。

○鈴木会長 ありがとうございます。というわけでどうしますか。見て回ったりしたいですか。

○洪委員 西広場を今想像でしかしゃべっていなかったのがそれが見たいのと、個人的に私は6日はいないのですが、4日、5日、6日で黒板、連絡板みたいなものができたら、国立でどんなことが書かれるのかすごく興味があるのですよ。本当にそれを置いて自由に書けるとなったときに、どんな現象が起きるのかみたいな。それはちょっと誰か6日だけ手伝ってもらえると。もしくはみんなで見たり。やることは多分置くことだけだと思うので。黒板を置いて、最初ちょっと書いておいたほうが書きやすいかもしれないので、それぐらいなのですが。それをやるなら外かなと思ったのです、置くなら。

○鈴木会長 では、ちょっと外に行ってみましょう。何時までにここに来ましょうか。

15分くらいですか。50分に戻っていただくようお願いします。

(国立駅南口駅前広場周辺を視察)

○鈴木会長 どうでしょう。皆さんいろいろなインスピレーションがあったと思うのですがけれども、大事なことを言い残してお1人ずつお願いします。

○藤本やはりあちら側が広いから、広いがゆえにできることというのをやりたくて、ボールの何か出るのですが、ちょっとスポーツ系はチャレンジしたほうがいいかなと思う。時間がかかるかもしれないけど、こういう形でやれば実現できるのではないかとこのところまで持ってきたいなというのは、思いとしてはあります。

もちろん西側はとにかく11月6日というのは1つの目標にして、使えるよとなればそれに応じた

ことを考える必要はあると思いますし、市のほうに移管されたらまたそれはそれで、もうちょっと今度はいろいろ企画だけではなくて、ものを入れてという形で考えたらいいのかなと思いました。

あと、子どもがぱっと遊べるのだったら、もし可能だったら人工芝を敷くだけでも全然違うので、それは簡単で一番いいかなと。今ちょっと私も別の仕事で人工芝を入れるというのをやっていて、やはりそれをやると子どもが来るというので。

○鈴木会長 ありがとうございます。秋田さん。

○秋田委員 単純にあっちがあんなに広いと思わなかったのが、あそこで冬できるなら本当に非現実的ですけども、雪を降らせたいなど。

○鈴木会長 それは楽しそうですね。

○秋田委員 一面銀世界にして子どもたちが勝手に遊べる状態ができると面白いなと思いました。

あとは本当に絵が描ける状態が作れば、あそこの囲われた中でできるものをぜひ実現したいなど。

○鈴木会長 ありがとうございます。

○洪委員 私も西の広場が、11月が目標ですけども、そうではなくても冬に用地交換した後でも何か子どもたちがそこで安全に楽しく遊べるというのはしたいなと思いますし、今、外でしゃべっていたときに、さっきの連絡黒板みたいなものが、私は最初駅舎に置くと思ったのですけれども、それ以外の、もう少し先の天下市の先まで置いて、そこから谷保のほうにも遊びに行きたくなるような仕掛けみたいなものができると、国立、谷保、矢川みたいなをつなぐ1つのことができそうかなみたいに思いましたし、本当に連絡板にいろいろな情報が集まるのかを見てみたいと思うので、それはちょっと11月やりたいなと思いました。

○鈴木会長 ありがとうございます。宮崎さん。

○宮崎委員 私もこちら側が広いなというので、この広い空間で実際にみんなが行き来するとどういう動線になるのかなというところで。ただ、できればあちらは動きがあるものができて、こっちがくつろげるようにとか、何か静と動みたいなものがあってもいいのかなとも思いました。両方でやっている、ちょっとやはり人が割と通りにくいとか出てくるのかなと思ったので、ちょっと強弱をつけるみたいなのも、実際にイベントとしてはそのほうがいいのかなと思いました。以上です。

○会長 ありがとうございます。木村さん。

○木村委員 大体皆さんがおっしゃっていることと重複してしまうのですけれども、やはりこれだけのスペースがあるので、宮崎さんがおっしゃっていたようにスポーツスペースであったりとか、ステージブースであったりとか、子どもたちが遊べる子ども広場みたいなブースであったりとか、そういうふうにブースに分かれているといろいろな楽しみ方ができるのではないかなと思いました。

あと、ハロウィンイベントとか子どもたち向けのイベントを企画している思ったのは、そんなに広いスペースではなくても、例えば輪投げとか子ども向けの簡易的なボーリングとか、フェイスペイントとか、結構狭いスペースでもいろいろできることはあって、子どもたちが本当に楽しんでくれるので、せっかく西側のスペースがあるのであればいろいろイベントは企画できるのではないかなと思いました。

○鈴木会長 ありがとうございます。

○礒部委員 人を広く誘うという意味ではキーとなるものはもう決まったなと思います。黒板、軽トラ、ピアノ。これがあると文字情報とか耳でいろいろな人を動かせるのではないかなという気がしてちょっと楽しくなってきました。以上です。

○佐藤委員 西の場所、あそこを11月6日、ぜひやりたいのですが、1回目で無人というのは、人出はかけたくないですけど、人が出ないというのはなかなか難しいかなと思いました。自分は全然出てきます派なので、場所を確保してくれれば人は何とかするので使えるようにしたいです。以上です。

○落合委員 東の広場のマンションが思いのほか近いなど、今日広場のほうから見て思いました。広いから子どもたちが走り回ってとか思ってしまうけれども、多分あちらのほう騒音問題はクリアされそうだなと。例えば高齢者の方はそんなに大きい声ではしゃいだりしないと思うので、太極拳とか、ゲートボールをやる時代ではないと思うのですが、何かそういう高齢の方が集える場所みたいな視点も必要なのかなと。子どもと高齢の方とみたいなものができたらいいかなと思いました。

○磯部委員 青空図書館とかどうですか。

○落合委員 それもいいですね。あったかい時期に。

○鈴木会長 ありがとうございます。僕は皆さんこの周辺のことをおっしゃっていたのですが、大学通りの南のほうは人がぼぼいなくなるけど道が止まっていると聞いたので、そこで皆で集まって遊んでしまうのはどうかかなということを思いました。それが1個。

あとは黒板の話がありましたけれども、駅から遠い人と遠いところの市民の方が黒板を通じて何ができるかというのは面白い実験だと思ったので、谷保方面等だけにかかわらず、今回できる分らないですけど、そういうコラボをそういう人たちとやるのもちょっといいかなと思いました。ディズニーランドの発想とつないで。

外立さんはどうですか。

○事務局 イベントの内容として今聞いた中で、西側広場での子どもの遊び場と連絡ツールの黒板というのは、あと鈴木先生の一番使っていないところで何かできないかというお話が結構メインなのかなと思っていて、西側のほうに関しては10月4日にJRのほうと事前の打ち合わせがあるので、そこでちょっとこのアイデアの中で実際に借りられるのかどうかを含めて確認をしてみたいと思います。黒板の設置とサッカーについては、これはもう市民まつりの実行委員会が主体のお祭りで、ちょっと今の段階でもしそういうのが企画としてできるかどうかというのが、まちの振興課のほうに相談して、そこからちょっと実行委員会のほうにまず確認させていただくと、あと実際に黒板があるのかどうかも含めて、学校とか公民館とか芸小ホールとかそういったところを確認してみて、実際に今回できるのか、もしくはまた次回できるのかちょっと別にして、実際そういう黒板があるかも含めてちょっと確認して、皆様のほうにメールをしたいと思います。なので、ちょっと調整する時間を頂ければと思いますのでお願いします。

○鈴木会長 というわけで、ありがとうございます。それでは、これで本日はお開きでいいですか。

次回の話とか。

○事務局 ちょっと次回のほうが第4回目なので、時期はまた改めてご連絡したいと思います。また、継続申請についてはメールでも結構ですので頂ければ、継続のほうでお願いしたいと思います。

○鈴木会長 それでは、本日はこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。